



地域子育て支援センター(児童館内)にて「町外から板倉町に嫁いで第1子子育て中です。板倉町は子育て支援事業が充実していて経済的にも助かっています。学校給食費の無料化など、子どもの成長に合わせた支援もあり、安心して子育てができると感じています」
(0歳児童館に参加したお母さんより)



すくすく、のびのびと育てたい！ 子育てするなら板倉で

問合せ 子育て支援係 ■内線 313・314

平成30年4月から板倉町児童館内に地域子育て支援センターを設置し、子育てに関する相談や講習会、情報提供、育児サークル等の活動支援、子育て中の親子同士が交流できる憩いの場の提供等、地域における子育て支援の拠点としての事業を実施しています。子育てにやさしい町づくりを目指し、子育て世帯に寄り添ったきめ細やかな子育て支援を実現するためにさまざまな事業を推進しています。

◇子育てにやさしいポイント

その1 公的支援が充実しています

国の子育て支援施策(児童手当、児童扶養手当等)のほか、「子育て支援金」や「0歳児紙おむつ券給付」などの町独自の子育て支援事業を実施しており、保護者の経済的負担を軽減することによって子育て世帯を支援しています。

その2 保育施設の待機児童ゼロ

町内には、公立保育園が2園、私立認定こども園が2園あります。待機児童問題が深刻化しているなかでも「待機児童数ゼロ」を維持しており、保護者が就労等によって日中家庭で保育できない乳幼児を養育する子育て世帯を支援しています。

その3 学童保育の待機児童ゼロ

町内には、放課後児童クラブが4クラブあります。利用児童数が年々増加しているなかでも受入体制拡充によって「待機児童数ゼロ」を維持しており、保護者が就労等によって日中家庭にいない小学児童を養育する子育て世帯を支援しています。

その4 一人ひとりに親身な対応

町福祉課や地域子育て支援センター(児童館)にある「子育て相談窓口」、地域の民生委員児童委員がさまざまな悩みや疑問、不安を親身に受け止めてアドバイスしており、保護者の精神的負担を軽減することによって子育て世帯を支援しています。

◇子育て世帯を応援します！

充実した子育て支援事業

町の子育て支援施策の一環として、子育て世帯の経済的負担を軽減するために実施している主な子育て支援事業を紹介します。

◆子育て支援金支給事業

新たに子を出産して養育している保護者、次年度に小学校へ入学する子を養育している保護者であつて、引き続き町内に在住するかたに対し、子育て支援金を支給します。

- ▼出生時
- 第1子 30,000円
 - 第2子 40,000円
 - 第3子以降 60,000円
- ▼小学校入学時
- 第1子 30,000円
 - 第2子 40,000円
 - 第3子以降 60,000円

◆0歳児紙おむつ券給付事業

0歳児を養育している保護者に対し、出生した月から1歳の誕生日の前月分までの給付券を支給します。

給付額 0歳児一人につき、最大24,000円
(1枚2,000円×12枚)

◆チャイルドシート購入費補助事業

1歳未満の乳児を養育する保護者がチャイルドシートを購入した場合、乳児一人につき1台の購入費の一部を補助します。

補助額 購入費の1/2の額(上限1万円)

◆その他の子育て支援事業

- ① 小中学校給食費の無料化・給食費個人負担(年間)
小学生 約47,000円
中学生 約56,000円
小学校から中学校卒業までに、一人当たり約45万円の給食費を町が負担します。
- ② 子どもの医療費の無料化
・中学校卒業までの外来医療費自己負担額と入院にかかった医療費と食事代
- ③ 高校世代の入院費等の無料化
・中学校卒業から18歳に到達した最初の3月31日までのかたで、入院にかかった医療費と食事代
- ④ 英語検定料の半額助成
・高校生以下が英検3級以上を受験した場合、検定料の半額を助成します。

○子育て支援カレンダー

区分	出生時	0歳	小学校入学時	小学生	中学生	高校生(高校世代)
子育て支援金	〇		〇			
チャイルドシート購入費補助金	〇					
0歳児紙おむつ券給付事業	〇					
小中学校給食費の無料化			〇	〇	〇	
子どもの医療費の無料化		〇	〇	〇	〇	
高校世代の入院費等の無料化						〇
英語検定料の半額助成				〇	〇	